

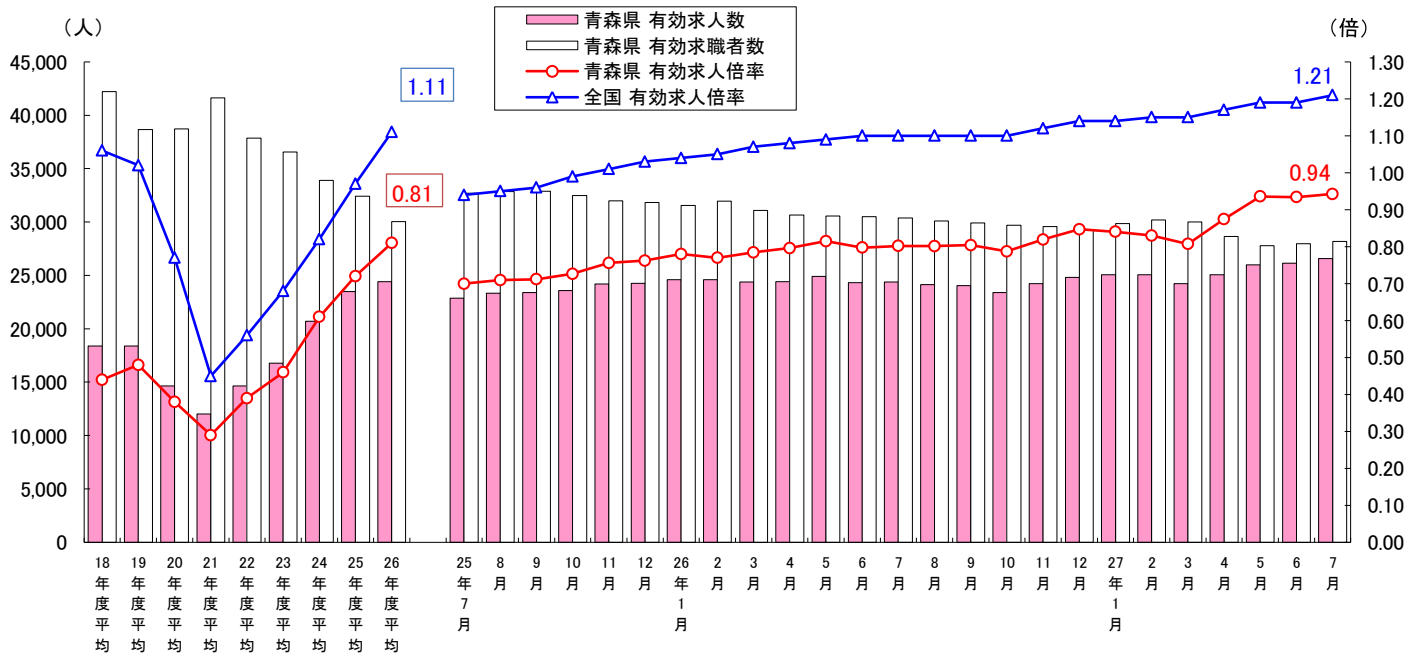
最近の雇用情勢について

(平成27年7月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

7月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.7%増加の26,567人、有効求職者数(同)は0.8%増加の28,195人で、有効求人倍率(同)は前月より0.01ポイント増加の0.94倍となった。

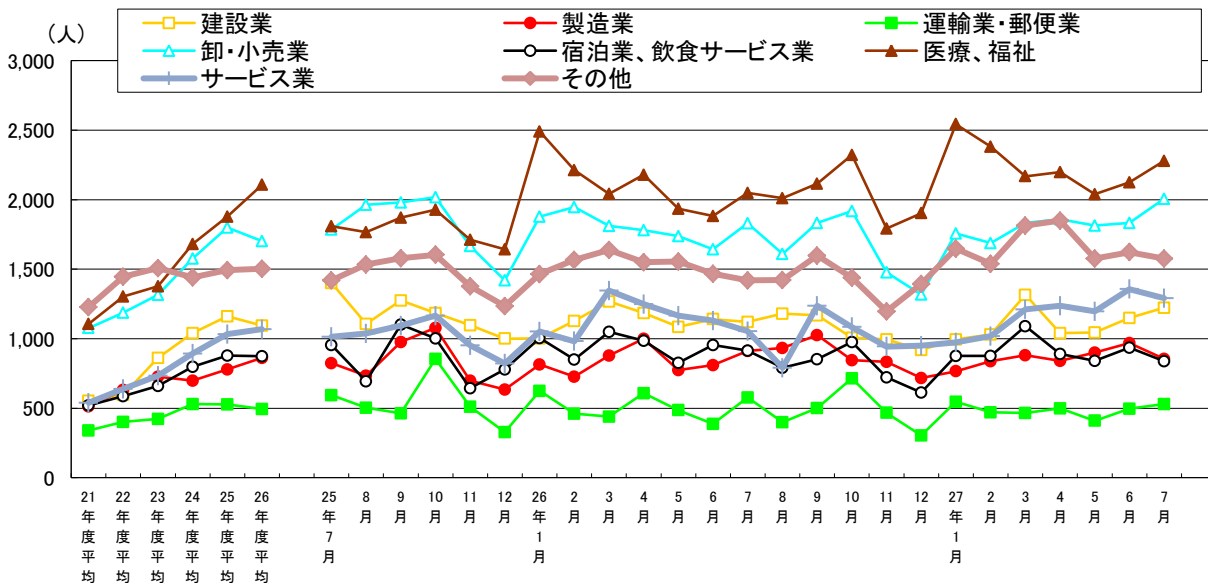


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

7月の新規求人(原数値)は前年同月比7.3%(722人)増加、前月比1.1%(117人)増加の10,602人。

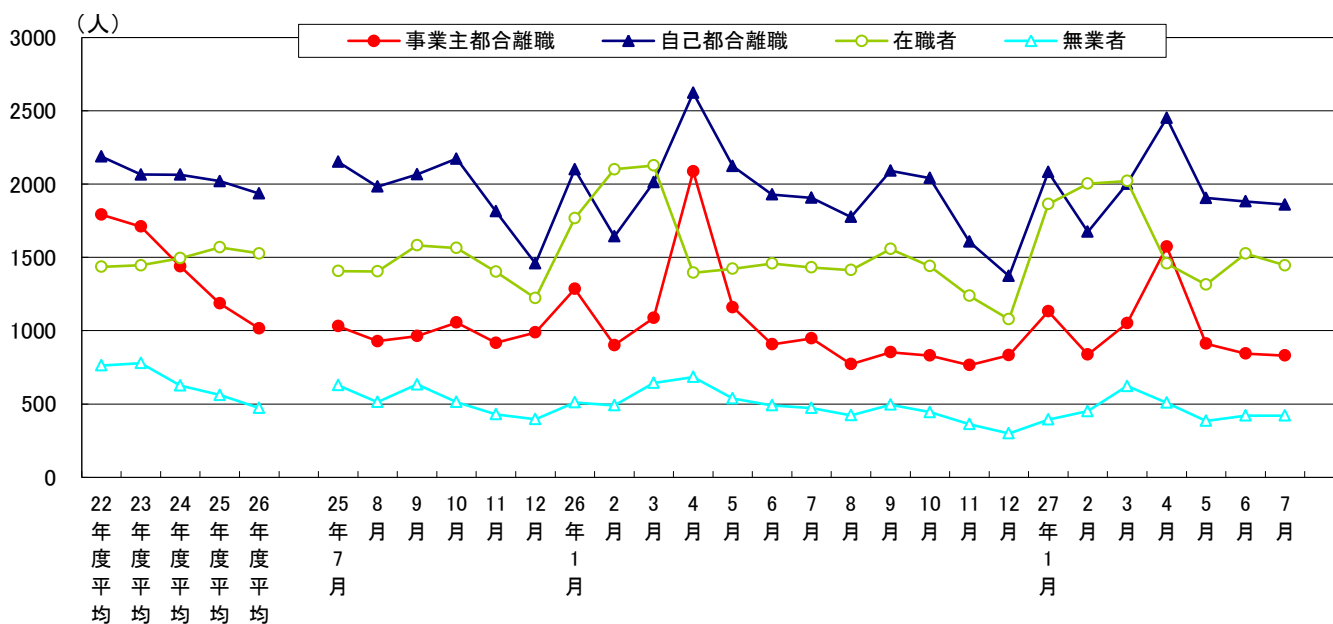
産業別に前年同月と比較すると、建設業、卸売業・小売業、医療、福祉、サービス業等で増加し、製造業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業では減少となった。製造業では、金属製品製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、印刷・同関連業、電気機械器具製造業等では減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

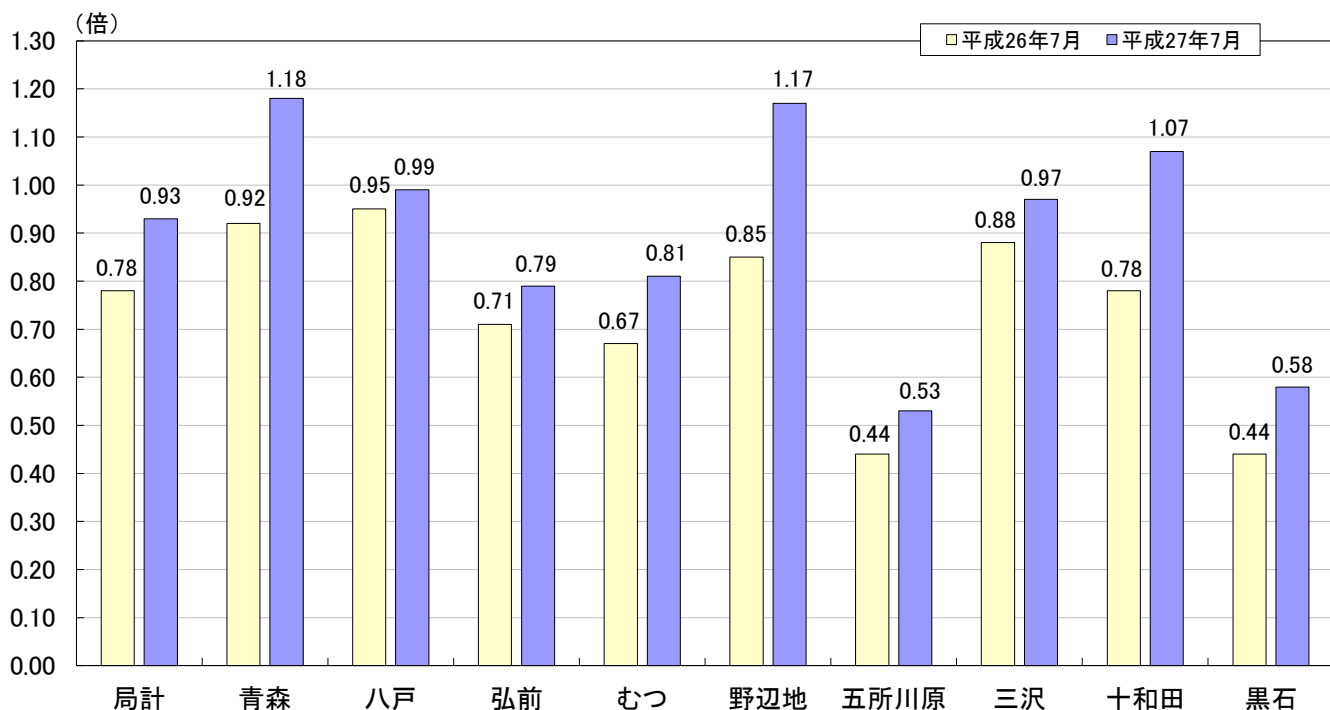
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

7月の新規求職者数は、前年同月比1.6% (119人)減少、前月比1.8% (135人)減少の7,314人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は1.0% (15人)増加し、離職者は5.6% (167人)の減少、無業者は、11.2% (53人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は12.4% (118人)の減少、自己都合は2.5% (47人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

7月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.93倍となり、前年同月を0.15ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

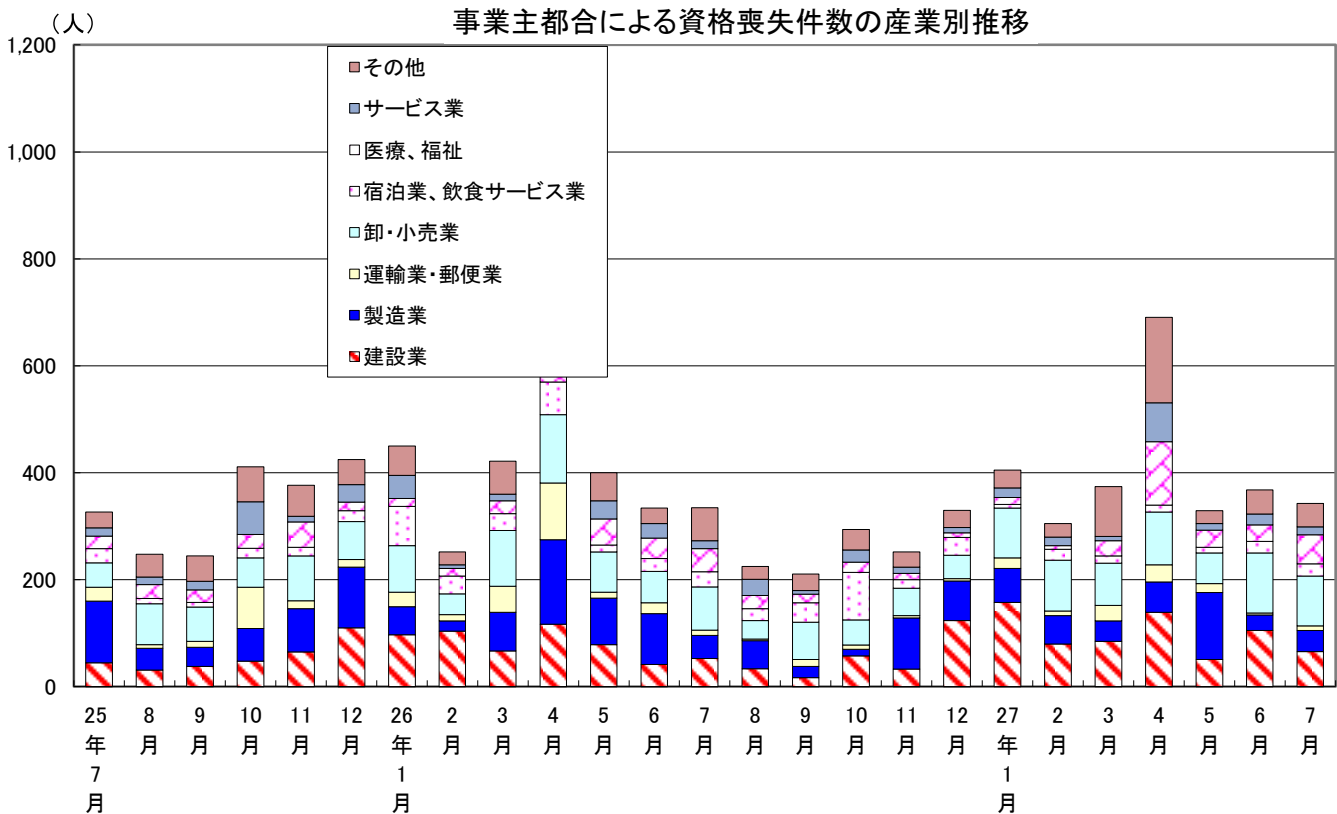
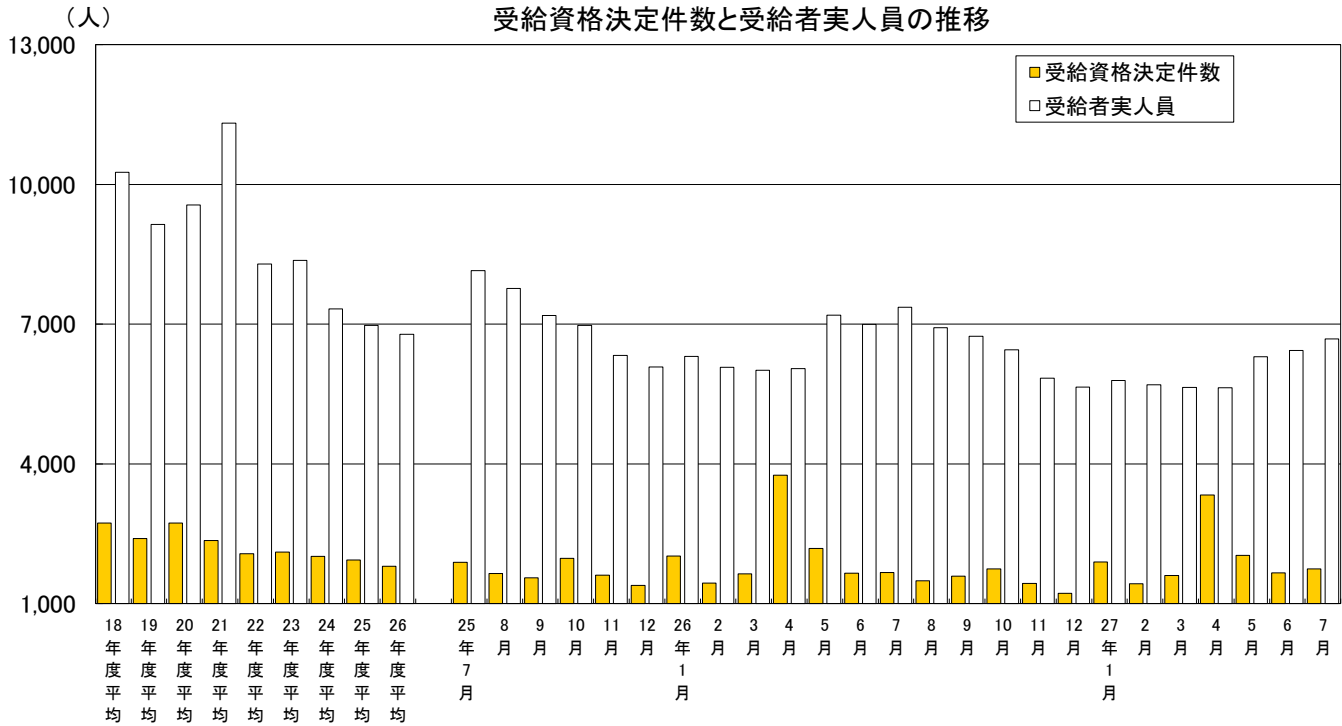


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	28,062	6,751	6,350	5,692	1,264	843	2,658	1,564	1,248	1,692
有効求人数	26,001	7,966	6,275	4,520	1,022	983	1,408	1,517	1,335	975

V 雇用保険の状況

7月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比9.2%（679人）減少、前月比では3.9%（249人）増加の6,685人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比4.9%（81件）増加、前月比では5.3%（88件）増加の1,747件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比2.4%（8人）増加、前月比6.8%（25人）減少の343人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。